

高知市

高知市における精神障害にも対応した地域 包括ケアシステムの構築に向けた取組

高知市では、平成27年から通院治療が可能でありながら入院を継続している精神障害者をなくすことを目標として、地域移行支援に取り組んできました。このことをきっかけとして、保健・医療・福祉の連携を深めるとともに、アウトリーチ支援などの取組も開始し、誰もが地域で当たり前に暮らすことのできる高知市をめざしています。

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

高知市では、平成27年度から「精神障害者の退院に向けた支援」の取組を開始し、平成29年度から高知市精神障害者地域移行促進事業を開始している。また令和6年度からアウトリーチ支援事業を開始している。

1. 精神保健医療福祉体制の整備に係る事業

- ・精神障害者地域移行代表者会議：保健、医療、福祉等の代表者と、地域移行支援・アウトリーチ支援事業の取組に係わる課題及び目標を共有する
- ・精神障害者地域移行戦略会議：保健、医療、福祉等の実務者による地域移行の個別事例検討を行っていたが、昨年度から準備会議として「コア会議」を新設し、地域移行・地域定着に向けた課題の抽出・整理や今後取り組むべき課題等について協議できる場へと再編した。戦略会議では、地域課題の共有と解決に向けた具体的な検討を行っている。

2. 普及啓発に係る事業

- ・心のサポーター養成研修：メンタルヘルスや精神障害の正しい知識を普及啓発し、地域住民の障害の理解を深める。

3. 当事者、家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

- ・地域移行支援を促進するため、ピアサポーターを養成し、定例会を開催するとともに、継続的なスキルアップを図る。
- ・一般相談支援事業所と高知市ピアサポーターが地域移行支援の活動と一緒に行動。
- ・関係機関への活動報告等を実施

4. 障害者等の地域生活支援に係る事業

- ・院内説明会（ぼちぼち会）：入院患者を対象として、相談支援事業所職員、ピアサポーターによる退院意欲喚起プログラムを行う。
- ・アウトリーチ支援事業：精神科病院に委託し、多職種チームによる訪問支援を行う。

5. 地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業

- ・精神障害者地域移行支援者会議（地域いこうかい）：にも包括構築に向け必要な研修を、当事者や家族、保健、医療、福祉関係者らと行う。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
精神障害者地域移行支援者会議 (地域いこうかい)											
ピアサポーターの 養成・育成		 養成研修① 養成研修②				 養成研修③	 高知市ピア36名登録	 相談支援事業所と地域移行支援の取組を一緒に行う			
院内説明会 (ぼちぼち会)		2回	1回	0回	1回	1回	0回	0回	1回	1回	0回
精神障害者地域移行 促進事業（委託事 業）		 H29.7月～H31.3月 地相談支援事業所に地域移行支援を事業委託									
精神障害者地域移行 代表者会議					 年1回						
精神障害者地域移行 戦略会議（実務者）											 コア会議 戦略会議
アウトリーチ支援事業										 精神科病院に委託	
心のサポーター養成 事業											

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に資する取組の成果・効果

＜令和7年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R7年度当初)	実績値 (R7年度末)	具体的な成果・効果
①精神障害者地域移行戦略会議の開催数	6 回	12 回	・会議体の見直しを行い、課題整理のための「コア会議」を新設し、戦略会議前の準備会議として位置づけ、両会議を交互に実施した。会議を通じて、地域移行に加え、地域定着を含めた視点で課題の抽出・整理を行った。
②院内説明会（ぼちぼち会） 開催数	1 医療機 関	0 回	・開催に至らなかったが、病院との調整の中で実施方法の検討を行い、次年度開催に向けた準備体制を整えた。
③精神障害者地域移行者支援者会議 (地域いこうかい) 開催数	2 回	2 回	・看護師を対象に、「にも包括」の取組について周知を図ることができた。 ・支援者と地域移行支援の制度理解を深め、病院と地域支援者の連携の重要性や、入院中から地域支援者が関わることの有効性を共有できた。
④アウトリーチ支援事業	30 件	11 件	・複雑化した対象者の課題に応じた柔軟な支援（身体科へのつなぎや居住環境調整等）を、多職種チームによる連携により行った。
⑤心のサポーター養成者数	200 人	230 人	・地域住民がメンタルヘルスや精神疾患への理解を深める機会を提供することができた。令和5年度からの累計では472名が心のサポーターとして認定された。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】平成27年度から入院中の精神障害者の地域生活移行を促進しており、保健・医療・福祉関係者のネットワークは一定程度確立している。また、ピアサポーターと協働した支援を行っているほか、アウトリーチ支援事業を開始し、入院に頼らず地域で生活を支える体制づくりに取り組んでいる。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割（取組）		
協議の場の活性化	・コア会議及び戦略会議において地域課題を整理し解決に向けた取組を検討するため、今年度からコア会議に密着アドバイザーの参加を得る。 ・行政とともに、保健・医療・福祉等の関係者を交え、課題の共有と解決に向けた具体的な協議を進める。	行政	・課題等を共有・検討できる場の設置、関係機関との連携	
		医療	・協議の場への参画・関係者との連携	
		福祉	・協議の場への参画・関係者との連携	
		その他関係機関・住民等	・協議の場への参画・関係者との連携	
ピアサポーターが活躍できる場の拡大	・地域移行支援を促進するための普及啓発への積極的な参加（広報誌の発行や協議の場への参加等） ・高知県精神障害者ピアサポーター研修会への参加 ・具体的な個別支援を協働して行う仕組みづくり	行政	・ピアサポーターのスキル向上の取組 ・地域移行支援・院内説明会の普及啓発	
		医療	・ピアサポーターとの専門性の理解と活用 ・院内説明会の開催の検討	
		福祉	・ピアサポートの専門性・雇用への理解と活用 ・ピアサポーターと協働した支援の実施	
		その他関係機関・住民等	・ピアサポートの専門性の理解	
課題解決の達成度を測る指標		現状値 （R 8 度当初）	目標値 （R 8 度末）	見込んでいる成果・効果
①精神障害者地域移行戦略会議の開催数（コア会議も含む）			6 回	課題を把握・共有し、解決に向けた協議・取組が進む。
②密着アドバイザーのコア会議への参加状況			毎回	関係機関の連携が強化され、課題解決に向けた具体的な検討ができる
③関係機関へのピアサポーターの活動の周知機会			増加	当事者の立場に立った支援が広がり、支援の質が向上。関係機関との連携が進み、協働体制が強化される。

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況（事務局）

【にも包括構築の体制】

入院中の精神障害者の地域移行支援に加え、課題解決を入院に頼らない仕組みづくりのためにアウトリーチ支援を令和6年度から開始した。保健・医療・福祉の関係機関やピアサポーターも交えた協議、また市民の精神障害の理解を深めるための普及啓発を行いながら「にも包括」の構築に取り組んでいる。

所管部署名	所管部署における主な業務	連携部署名	連携部署における主な業務
高知市保健所健康増進課	・精神保健福祉担当 ・協議の場を運営	障がい福祉課	・障害福祉サービスの支給決定 ・個別支援等
		福祉管理課	・生活保護の支給決定、協議の場への参画、長期入院者に対する調査

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	・措置入院者の退院後支援事業の実施 ・精神障害者やその家族等に関係する支援を関係機関と連携して実施	・措置入院者の退院後支援や地域移行支援、アウトリーチ支援等の個別支援を通して、今後も医療、福祉との連携を強化する。 ・地域課題の把握・解決に向けた検討を行っていく。
医療	・措置入院者の退院後支援に協力 ・協議の場への参加や院内説明会への協力	・病院関係者が協議の場へ参加をしてくれており、地域の支援者との連携ができている。 ・院内説明会の開催にむけ協力してくれている。 ・アウトリーチ支援を医療機関に委託しており、委託先医療機関とさらなる連携を強める。
福祉	・障がい福祉課では、障害福祉サービスの支給決定や個別支援を実施。協議の場への参加 ・福祉管理課では、生活保護受給者の退院後支援等を実施。協議の場への参加	・協議の場へ参加をしてくれており、地域移行支援対象者等の共有ができている。 ・障害福祉サービスの導入がスムーズにいくよう連携できている。 ・生活保護受給者の退院後支援対象者と地域移行支援事業対象者との連携ができるよう、今後も協議の場での検討を行っていく。
その他関係機関・住民等		

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	既存の会議体を活用している場合はその名称・課題・強み等
精神障害者地域移行代表者会議	・精神科医療機関(代表者) ・県(障害保健代表者) ・市(障害福祉代表者) ・社会福祉法人(管理者) ・高知市家族会(代表者)	1回／年	目標や課題の共有を行う	各機関の代表者に共有してもらうことで、働きかけがしやすくなる。
精神障害者地域移行戦略会議(コア会議を含む)	・精神科医療機関職員(相談員・看護師) ・一般相談支援事業所職員 ・市(障がい福祉課・福祉管理課・地域包括支援センター(高齢))職員 ・県(障害保健支援課)職員 ・高知市ピアサポーター ・保健所健康増進課職員	毎月(コア・戦略会議を交互に実施)	地域移行に限らず地域定着も含めた視点で課題の抽出・整理を行い、地域課題の解決に向けた取組を検討する。	・保健・医療・福祉の関係機関の顔の見える関係が構築されている。 ・検討する内容によりメンバーを変え参加してもらうことができる。

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください。

地域移行支援を戦略的に進めるために立ち上げた協議の場(精神障害者地域移行戦略会議、以下「戦略会議」という。)については、昨年度、コア会議と戦略会議の2つの会議体に再編した。今年度は、コア会議に密着アドバイザーも参画し、地域課題の整理や具体的な取組案の検討をさらに進めていきたい。協議の場を、課題解決につながる実効性のある場として活性化するための進め方について、助言をいただきたい。

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）**事業利用予定年数：令和9年度まで****到達目標****（令和9年度まで）****地域で暮らすことを支援する取組が増える**

年度	実施内容	具体的な取組
R8年度	地域課題を整理し、解決に向けた検討を行う	・コア会議に密着アドバイザーに参画してもらい、地域課題の抽出・整理を行い、取組を決めていく。 ・コア会議・戦略会議のメンバー構成を検討する。 ・戦略会議で課題解決に向けた協議を行う。
R9年度	課題解決に向けた取組を進める 事業利用終了、自治体で推進	・地域課題に対する具体的な解決策を実施する。 ・構築支援事業終了後も、地域で取組が継続できる体制を整える。

